

# 保証書

CK-TA



家庭用

## 電気ケトル保証書

持込修理

取扱説明書・本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。

型 名	CK-TA06/CK-TA08		修理メモ
※お客様	お名前	☎	
	ご住所 〒		
※お買い上げ日	※販売店名・住所		
年 月 日			
保証期間			
お買い上げ日より			
本体1年	☎		

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ご転居・ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - (イ) 使用上の誤りや不当な修理・改造による故障および損傷。
  - (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
  - (ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧・指定外の使用電源（電圧・周波数）などによる故障および損傷。
  - (ニ) 一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障および損傷。
  - (ホ) 車両・船舶などに搭載された場合の故障および損傷。
  - (ヘ) 本書のご提示がない場合。
  - (ト) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
  - (チ) 消耗品などの交換。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

- お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただきますので、ご了承ください。
- この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社

〒530-8511 大阪市北区天満1丁目20番5号 ☎(06)6356-2451

## 愛情点検

## 長年ご使用の電気ケトルの点検を！

こんな  
症状は  
ありませんか？

- ご使用中、コード・差込みプラグが異常に熱くなる
- その他の異常や故障がある

ご使用中  
止

こんな症状のときは、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検(有料)をご相談ください。

CK-TA 型 © ㊞

## 電気ケトル

型名  
CK-TA06 型  
CK-TA08 型

## 取扱説明書



- このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

保証書つき

## もくじ

### お使いになるまえに

- 安全上のご注意 ..... 2
- 各部のなまえと扱い方 ..... 4

### 使い方

- 湯を沸かす ..... 6
- 湯を注ぐ ..... 8
- 残り湯を捨てる ..... 9
- 空だき防止 ..... 9

### お手入れ

- お手入れ ..... 10
- 部品の交換・購入について ..... 11
  - 内ぶたパッキンの交換 ..... 11
- クエン酸洗浄（ピカポット） ..... 12

### 困ったときに

- 商品Q&A ..... 12
- 故障かなと思ったとき ..... 13
- 仕様 ..... 14
- アフターサービス ..... 15
- お客様ご相談窓口 ..... 15
- 保証書 ..... 裏表紙

- この商品は湯沸かし専用です。保温機能はついていません。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。

<b>警告</b> 死亡や重傷に結びつく恐れがある内容です。	<b>注意</b> 軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐れがある内容です。
--------------------------------	------------------------------------------

■お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。

○ してはならない「禁止」内容です。	！ 実行しなければならぬ「指示」内容です。
--------------------	-----------------------

## 警告

<p><b>改造はしない。</b> また修理技術者以外の人には分解しない</p> <p>分断禁止</p> <p>火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。</p>	<p><b>子供供で使わない。</b> 幼児の手の届くところで使わない</p> <p>禁止</p> <p>やけど・感電・けがの恐れがあります。</p>
<p><b>水に濡れたり、水をかけたりしない</b></p> <p>水濡れ禁止</p> <p>流し台など水にぬれた場所に置かない</p> <p>ショート・感電の原因になります。</p>	<p><b>コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない</b></p> <p>感電・ショート・発火の原因になります。</p>
<p><b>ぬれた手で差込みプラグを抜き差ししない</b></p> <p>ぬれ手禁止</p> <p>感電・けがの恐れがあります。</p>	<p><b>コードを傷つけない</b></p> <p>無理に曲げたり、引っ張ったり、なじたり、束ねたり、高温部に近づけたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。</p>
<p><b>蒸気口・注ぎ口に触ったり、手や顔を近づけない</b></p> <p>接触禁止</p> <p>やけどの恐れがあります。特に乳幼児には触らせないようにご注意ください。</p>	<p><b>氷を入れて保冷用に使わない</b></p> <p>結露が生じ、感電・故障の原因になります。</p>
<p><b>蒸気口をふきんなどでふさがれない</b></p> <p>禁止</p> <p>湯がこぼれ、やけどの恐れがあります。ふたの変形・変色や故障の原因になります。</p>	<p><b>直火（ガス台など）や電気ヒーター・IH調理器などの上に載せない</b></p> <p>火災の原因になります。</p>
<p><b>ふたを勢いよく開めない</b></p> <p>湯がこぼれ、やけどの恐れがあります。</p>	<p><b>水以外のものを入れたり、沸かしすぎたりしない</b></p> <p>沸立ちが起き、内容物がこぼれ出し、やけどの恐れがあります。また水詰まりにより内容物の焦げ付きや腐食・フッ素被膜がはがれる原因になります。</p>
<p><b>湯水表示以上の水を入れない</b></p> <p>湯がこぼれ、やけどの恐れがあります。</p>	<p><b>●牛乳・酒・スープ・漬物・ティーパーグ・お茶の葉・インスタント食品の調理</b></p> <p>●料理・食品のあたためや食材を煮るなどに入れて使用する調理</p>
<p><b>本体を指さかえたり、傾けたり、揺すったり、ふたを持って移動や排湯をしない</b></p> <p>湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。</p>	<p><b>本体接続部・電源プレート接続部（金属部）にピンと金属片やごみを付着させない</b></p> <p>感電・ショート・発火の原因になります。</p>
<p><b>電気ケトルを転倒させない</b></p> <p>湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。</p>	<p><b>本体接続部・電源プレート接続部（金属部）をなめさせない</b></p> <p>感電・けがの恐れがあります。特に乳幼児には触らせないようにご注意ください。</p>
<p><b>交流100V以外では使用しない</b></p> <p>火災・感電の原因になります。</p>	



## 警告

<p><b>！ 必ず実施</b></p> <p><b>内ぶたのバック金白く変色したら交換する</b></p> <p>傾けたり揺すったりしたときに湯が溢れ出て、やけどの恐れがあります。</p>	<p><b>！ 必ず実施</b></p> <p><b>ふたは確実に閉める</b></p> <p>変化したときに湯が溢れ出て、やけどの恐れがあります。</p>
<p><b>定格15A以上のコンセントを単独で使う</b></p> <p>他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火の原因になります。</p>	<p><b>！ 必ず実施</b></p> <p><b>異常・故障時には直ちに使用を中止する</b></p> <p>そのままだけで使用する、発煙・発火・感電・けがの原因になります。</p>
<p><b>差込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む</b></p> <p>感電・ショート・発煙・発火の原因になります。</p>	<p>●異常・故障例&gt;</p> <p>●差込みプラグ・コードが異常に熱くなる</p> <p>●コードに湯がついたり、熱されると通電しただけでなく、発煙・発火の原因になります。</p>
<p><b>差込みプラグの刃（プラグの先端）および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふく</b></p> <p>火災の原因になります。</p>	<p>●本体が変形したり、異常に熱くなる</p> <p>●本体が煙が出たり、焦げくさいにおいがする</p> <p>●本体の一部が割れたり、破損やけがたつきがある</p> <p>●異常な発熱や火花がでる</p> <p>このような場合は、すぐに差込みプラグを抜いて、販売店に必ず点検・修理を依頼する</p>

## 注意

<p><b>！ 必ず実施</b></p> <p><b>ふたを開けるとき、出る蒸気に触れない</b></p> <p>やけどの恐れがあります。</p>	<p><b>！ 必ず実施</b></p> <p><b>専用の電源プレート以外は使用しない</b></p> <p>電源プレートは他の機器に転用しない</p> <p>また海外仕様の電気製品に使用しない</p> <p>故障・発火の原因になります。</p>
<p><b>！ 必ず実施</b></p> <p><b>使用中や使用後はしばらくは高温部に触れない</b></p> <p>やけどの恐れがあります。</p>	<p><b>！ 必ず実施</b></p> <p><b>使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く</b></p> <p>プラグを抜く</p> <p>けが・やけど・発煙・発火の原因になります。</p>
<p><b>！ 必ず実施</b></p> <p><b>本体を持ち運ぶときは、ふたを開閉つまみに触れない</b></p> <p>ふたが開いて、けが・やけどの恐れがあります。</p>	<p><b>！ 必ず実施</b></p> <p><b>お手入れは冷めてから行う</b></p> <p>高温部に触れ、やけどの恐れがあります。</p>
<p><b>！ 必ず実施</b></p> <p><b>壁や家具の近くで使わない</b></p> <p>蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。</p>	<p><b>！ 必ず実施</b></p> <p><b>差込みプラグを抜くときは、コードを保持する</b></p> <p>必ず先頭の差込みプラグを持って抜く</p> <p>感電・ショート・発火の原因になります。</p>
<p><b>！ 必ず実施</b></p> <p><b>不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない</b></p> <p>火災の原因になります。</p>	<p><b>！ 必ず実施</b></p> <p><b>コード・差込みプラグが破損した製造品には、危険が生じるのでお買い上げに、製造者もしくはその代理店に交換を行っていただくこと</b></p>
<p><b>！ 必ず実施</b></p> <p><b>海濱かし中は、湯を注がない</b></p> <p>湯が飛び散りやけどの恐れがあります。</p>	
<p><b>！ 必ず実施</b></p> <p><b>熱源のそばで使用しない</b></p> <p>火災・故障の原因になります。</p>	

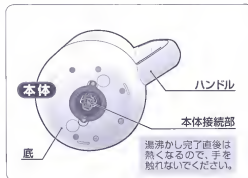
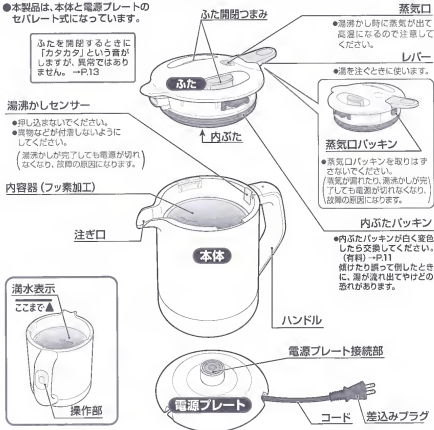
## お願い

<p><b>■空だきはしない</b></p> <p>火災・故障の原因になります。</p>	<p><b>■他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない</b></p> <p>蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。</p>	<p><b>■本体や電源プレートを引きずって移動しない</b></p> <p>机などに傷がつく恐れがあります。</p>
<p><b>■落とす、ぶつけるなどの衝撃を与えない</b></p> <p>故障・破損の原因になります。</p>	<p><b>■凍結する恐れのある場所に設置する場合は、必ず内容物の水を完全に捨てる</b></p> <p>凍結による故障の原因になります。</p>	<p><b>■操作部に水がかからないように注意する</b></p> <p>故障の原因になります。</p>



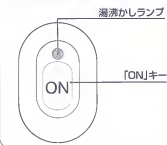
# 各部のなまえと扱い方

●本製品は、本体と電源プレートのセパレート式になっています。



## 操作部

●キーは指先で押してください。



## ふたの開け方・閉め方

### 開け方

- ①「ふたの開閉つまみ」をつまむ
- ②そのまま引き上げ、ふたを開ける



### 閉め方

ふたを真下に押し込む

- 両側のふた開閉つまみが「カタツ」と音がするまで確実に押し込んでください。

### 注意

ふた開閉時は蒸気に注意してください。  
沸騰かし中や沸騰かし完了直後はふたを開けないでください。  
(やけどの恐れ)



- 本体が倒れないよう注意してください。
- ふたの開閉は本体を電源プレートからはずした状態でお願いします。

## コードの長さ調節方法

コードを電源プレート底部に巻きつけて(時計回り方向)長さを調節し、必ず電源プレートの切り込み(3カ所)からコードを外に出してください。

- 切り込み3カ所のどこからでもコードは出せます。



- ふたが完全に閉まっていることを確認してください。

ふた開閉つまみのオレンジ色の部分が見えているときは、ふたが完全には閉まっていません。オレンジ色の部分が見えなくなるまでふたを確実に押し込んでください。  
(そのまま使用すると湯が漏れて、やけどの恐れがあります。)



# 湯を沸かす

初めてお使いになるときや、長期間お使いにならなかった場合は、一度湯を沸かし、注ぎ口から湯を捨ててご使用ください。

使いはじめはプラスチックなどのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

## 1 ふたを開け、別の容器で水を入れる

本体を電源プレートに載せる前に水を入れてください。



### ●ミネラルウォーターやアルカリイオン水のご使用について

ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用すると、水面に様々な浮遊物や内容器に乳白色のガラガラしたものがつく場合があります。これは水の成分（ミネラル）であり、有害ではありません。ミネラルウォーターやアルカリイオン水をご使用になる場合は、こまめにお手入れしてください。

### ●お風呂

- 蛇口から水を直接入れたり、流し台に置いて底面をぬらさないでください。（本体に水が入り故障の原因）
- 本体および操作部に水がかからないように注意してください。（水が入り故障の原因）
- 「満水表示」以上、水を入れないでください。（蒸気口や注ぎ口から湯がふこぼれる原因）
- 水以外のものは入れないでください。
- 市販の水質改善材（炭など）やミネラル添加材を入れて使用しないでください。（かけらが詰まり故障の原因）
- ふたが完全に閉まっていることを確認してください。ふたが完全に閉まっていなくて湯が沸いても電源が切れない場合があります。
- 電源プレートに本体を載せたまま水を入れないでください。（電源プレートに水がかかり故障の原因）

## 2 本体を電源プレートに載せる

### ① ふたを閉める

両側のふた開閉つまみが「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。

（注ぎ口以外から湯が流れ出て、やけどの恐れ）



### ② 本体を電源プレートに載せる

本体接続部を電源プレート接続部に合わせて正しく載せてください。



専用の電源プレート以外は使用しないでください。

電源プレートは清潔で平らなところに置いてください。

## 3 差込みプラグをコンセントに差し込み「ON」キーを押す

### ① 差込みプラグをコンセントに差し込む



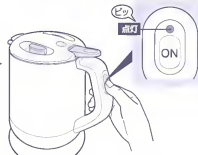
●定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。

（他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火する恐れ）

### ② 「ON」キーを押す

湯沸かしランプが点灯し、湯沸かしを開始します。

●本体を電源プレートに正しく載せない、「ON」キーを押しても湯沸かしを開始しません。



●やけどの恐れがありますので、以下の内容をお守りください。

- ・蒸気口にふきんをかけない
- ・蒸気口から出る蒸気に注意する
- ・湯沸かし中はふたを開けない
- ・湯沸かし中は湯を注がない
- ・湯沸かし中は移動させない

### ③ 自動的に電源が切れる

ブザーが鳴り、湯沸かしランプが消灯します。



●湯沸かしが完了するまでに電源を切る場合は、「ON」キーを押してください。

（ピーピッとブザーが鳴り、電源が切れます。）

●保温機能はありません。

湯沸かし時間

06型	約3分50秒
08型	約5分

（室温23℃・水温23℃ 沸水の場合）

湯沸かし完了直後は本体が熱くなりますので注意してください。特に乳幼児には触らせないようにご注意ください。



湯沸かし完了直後に、ふたを開けないでください。（やけどの恐れ）

●湯沸かし完了後は、差込みプラグをコンセントから抜いてください。（感電・けがの恐れ）

# 湯を注ぐ

沸とう状態がおさまってから湯を注いでください。

湯沸かしランプが消灯していることを確認したあと

本体を電源プレートからはずし、

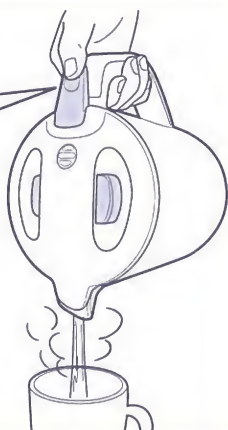
ハンドルを持ち、**レバーを押しながら** 傾けて湯を注ぐ

## 1 レバーを押しながら、傾けて湯を注ぐ

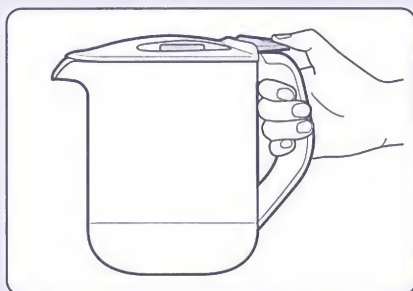


### 注意

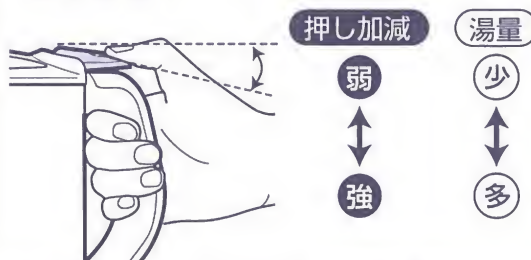
- 注ぎ口から湯が出ているときに、レバーから指を離さないでください。湯が飛び散り危険です。(やけどの恐れ)
- 蒸気口から出る蒸気に注意してください。(やけどの恐れ)
- 注ぐときは、本体底の本体接続部に手を触れないでください。(熱くなっていることがあり、やけどの恐れ)



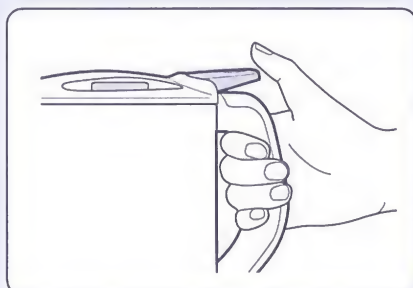
## 2 レバーを押したまま本体を水平に戻す



レバーの押し加減で湯量が調節できます。



## 3 レバーから指を離す



### お願い

- 蒸気が出なくなったことを確認してから、レバーを操作してください。(やけどの恐れ)
- レバーを操作していない状態であっても、本体を傾けたり、揺すったり、転倒させたりすると注ぎ口から湯が出る場合がありますので絶対にしないでください。(やけどの恐れ)
- 湯沸かし完了直後にふたを開けないでください。(やけどの恐れ)
- 一気に深く傾けて注がないでください。(やけどの恐れ)
- 注いでいる間はふた開閉つまみに触れないでください。(やけどの恐れ)

# 残り湯を捨てる

使用後は湯を残さず、内容器を空にしてください。

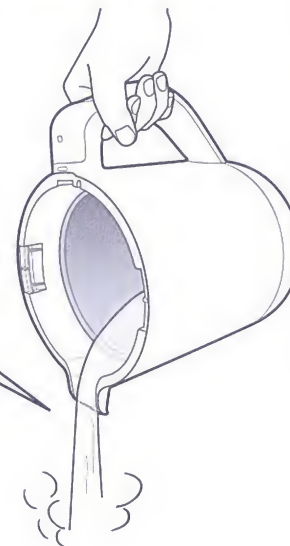
ふたを開け、

ハンドルを持ち、

傾けて注ぎ口から残り湯を捨てる

### 注意

湯を捨てるときは、捨てる湯や蒸気に注意してください。(やけどの恐れ)



### お願い

- ぬれた手で差し込みプラグ・電源プレート接続部を持たないでください。(ショート・感電の原因)
- ふたを開けるときは、蒸気口やふた内部からのしずくが手にかからないように注意してください。(やけどの恐れ)
- 操作部・本体・本体接続部に湯がかからないよう注意してください。(やけどや故障の原因)
- 1日1回は残り湯を捨ててください。(水アカ付着の原因)

# 空だき防止

内容器が空の状態です「ON」キーを押すと、過熱による事故を防ぐために空だき防止機能が働き、自動的に電源が切れます。(ブザーが鳴り(ピッ×10回)、湯沸かしランプが消灯します。)

### 処置

内容器が十分に冷めてから水を入れ、再び「ON」キーを押す  
(やけどの恐れ)

# お手入れ

必ず差込みプラグを抜き、残り湯を捨て、本体が冷めてから行ってください。

## お風呂

- 底がぬれた状態で製品を逆さまにして乾燥させないでください。(内部に水が入り、故障・さびの原因)
- シンナー・ベンジン・みがき粉・たわし類(ナイロン・金属製など)・漂白剤などを使わないでください。(内ふた・内容器(フッ素被膜)が傷つく原因)
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥器を使用しないでください。(樹脂の変形の原因)
- 長期間使用しないときは、十分乾燥させて、においがつかないようにし、ポリ袋などに入れて保管してください。

## 本体・ふた・電源プレート

よく絞った柔らかい布で汚れをふき取る

- 丸洗いは絶対にしないでください。また、操作部・本体接続部・電源プレート接続部に水をかけないでください。(内部に水が入り、故障・さびの原因)

## 内ふた

ぬれた柔らかいスポンジで汚れをふき取る

## 内容器

定期的なクエン酸洗浄をする  
→P.12

- 以下のようなときに、クエン酸洗浄を行ってください。
- 赤さび状の斑点(もらいさび)がある
  - 乳白色・黒色などの変色・膜状のものが浮遊している
  - 湯を沸かしたとき、大きな音がある
  - 湯がにおう

(使用される水質や沸かし回数によって汚れる状態は異なります。)

本体接続部・電源プレート接続部・コード・差込みプラグ

乾いた柔らかい布で汚れをふき取る



# 部品の交換・購入について

- 損傷した場合は、新しい部品と交換(有料)してください。
- 消耗品は保証期間内でも「有料」とさせていただきます。
- お買い求めの際には製品の型名および部品名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。(ホームページでのご購入はP.15参照)

	部品名	部品番号
消耗品	内ふたパッキン	BF3690B2M-00
別売品	ボット内容器洗浄用クエン酸ビカボット(30g×4包入)	CD-KB03-J

## 内ふたパッキンの交換

内ふたパッキンは消耗品です。1年を目安にご確認ください。

新しい内ふたパッキンは、ぬれた柔らかいスポンジでふいてから取りつけてください。

内ふたパッキンが白く変色してきたら... 新しく内ふたパッキン(有料)と交換してください。

内ふたパッキンが白く変色すると、傾けたり振って倒したときに、ふたと本体のすき間から湯が流れ出てやけどの恐れがあります。内ふたパッキンを交換しても蒸気が漏れたり、湯がふきこぼれるときは、その他の部品が傷んでいることがありますので弊社のお客様で相談窓口にお問い合わせください。

## はすし方

ふたをしっかりと押さえ、内ふたパッキンをはすす

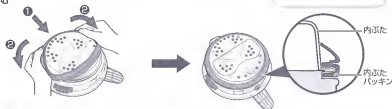
お風呂 ●スジは緩めないでください。



- お風呂
- 内ふたパッキンは強い力で引っ張らないでください。(破損の原因)
  - 内ふたをはすした場合は、内ふたパッキンを取りつける前に内ふたを正しく取り付けてください。

## つけ方

- ① 内ふたの外周に内ふたパッキンを引っかける
- ② 内ふたパッキン全周を回の通りきっちりとはめ込む



内ふたパッキンの取付状態を確認してください。



# クエン酸洗浄 (ピカボット)

泡立ち・ふきこぼれ防止のため弊社のピカボット (ポット内容器洗浄用クエン酸) をお使いください。(別売品) → P.11

**1** コップにクエン酸30gを入れて、ぬるま湯で溶かし、内容器に水といっしょに満水表示 (こまで▲) まで入れる

**2** ふたを閉め差込みプラグを接続したあと「ON」キーを押して湯を沸かし、その状態で約2時間置いておく

**3** 湯を捨てて

**4** 内容器および注ぎ口内部をすすぐために水だけを沸かし、ふたを閉めた状態で湯を捨てる

## お買い

- 水は満水表示以上入れないでください。(ふきこぼれの原因)
- 汚れが落ちにくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄をしてください。

- ミネラルウォーターやアルカリイオン水をご使用になる場合は、内容器にカルシウムなどの汚れが付着しやすくなります。また、内容器に付着した水アカなどの汚れをそのままにしておくと、湯沸かしの音が大きくなります。ミネラルウォーターやアルカリイオン水をご使用になる場合はこまめにお手入れしてください。

## 商品Q&A

水以外のものを入れてもいいのですか?	水以外は入れないでください。入れたものがふき出してやけどの恐れがあります。また、本体の故障の原因になります。	▶ P.2
毎日湯はかえないといけなのですか?	1日1回は残り湯を捨ててください。残り湯を捨てないと、水アカ付着の原因になり、湯沸かし中の音が大きくなります。	▶ P.9
ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用していいのですか?	使用できます。ただし、水面に細かな浮遊物や内容器に乳白色のザラザラしたものがつく場合があります。これは水の成分 (ミネラル分) であり、有害ではありません。こまめにお手入れしてください。	▶ P.6
クエン酸洗浄中に湯を飲んでしまった!!	クエン酸洗浄中に記載されている内容に従って処置してください。	

## 故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、一度お調べください。

こんなときは	お問い合わせください	直し方
差込みプラグがはずれていませんか?	差込みプラグを差し込んでください。	差込みプラグを差し込んでください。
本体を電源プレートに正しく載せていますか?	正しく載せてください。	正しく載せてください。
「ON」キーを押しましたか?	「ON」キーを押してください。	「ON」キーを押してください。
電源プレート接点部に金属片やごみが付着していませんか?	金属片やごみを取り除いてください。	金属片やごみを取り除いてください。
湯とう返すときに「ON」キーを押していませんか?	十分に冷ましてからご使用ください。	十分に冷ましてからご使用ください。
「ON」キーを押しても、しばらくするとブザーが鳴り、湯沸かしランプが点灯する	水は入っていますか? 空だき防止機能が発動しています。	内容器が十分に冷めてから水を入れ、再び「ON」キーを押してください。→P.9
湯沸かしが完了せず、「ビップ×2回」のブザーが鳴り、ランプが点灯する	ふたが開いていませんか? 清潔かセンサーが汚れていませんか?	ふたを確実に閉めてください。 よく絞った柔らかい布で湯沸かしセンサーの汚れをふき取ってください。
注ぎ口や蒸気口から湯がふきこぼれる	水を満水表示以上入れていませんか?	水を満水表示以下に減らしてください。

湯の中で膜状のものが浮遊している	水の成分 (ミネラル分) によるもので、内容物の漬食・フツ煮被膜のはかりではありません。	クエン酸で内容器をお手入れしてください。→P.12
内容器に乳白色のザラザラしたものがつく	水の成分 (ミネラル分) によるもので、内容物に付いた水アカなどの汚れをそのままにしておくと、音が大きくなります。	水アカ お使いいただいているうちに、水の中に含まれているカルシウムなどのミネラル分が、内容器に付着していきます。これは「水アカ」と言われているもので、有害ではありません。
湯沸かし中に大きな音がする	水の中の成分によっても、内容物の漬食・フツ煮被膜のはかりではありません。	

ふたの消耗	内ぶたのパッキン	●内ぶたのパッキンは消耗品ですので、1年を目安にご確認ください。ふたと本体のすき間から蒸気が漏れたり、白く変色してきた場合は交換してください。→P.11
	樹脂部品	●ふたの樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。食品衛生上安全な材料を使用していますが、樹脂部品が変色したりザラザラしてきた場合は、交換 (有料) してください。
その他	本体が熱くなる	●湯温や室温が高い場合は本体外側が約80℃になる場合がありますが異常ではありません。
	コードが熱くなる	●湯沸かし中は、コードが熱くなる場合がありますが異常ではありません。
	注ぐときや、ふたを開閉するときに「カタカタ」という音がする	●万一乾涸した場合、湯の流出を防止するためのおもりの動く音です。異常ではありません。

内容器 (フッ素加工) は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。お買い上げの販売店または、弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

# 仕 様

型 名	CK-TA06	CK-TA08
定 格 容 量	0.6L	0.8L
電 源	交流100V 50/60Hz	
消 費 電 力	1000W	
コ ー ド の 長 さ	1.3m	
外 形 寸 法 (約cm)	本体のみ	幅23.5×奥行15×高さ19
	電源プレート 含む	幅23.5×奥行15×高さ21
質 量	本体のみ	幅23.5×奥行15×高さ23
	電源プレート 含む	約0.9kg
		約1.0kg
		約1.1kg

- 特定地域(高い山・厳寒地)においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はなるべくおさげください。
- この製品は、日本国内交流100V専用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance was designed for use in Japan only where the local voltage supply is AC100V and should not be used in other countries where the voltage and frequency vary.  
After sales-service for this appliance is not available outside of Japan.

此产品只针对日本国内专用交流电压100V所设计。由于各国所使用电压或电源频率不同，请勿用于其它地区。另亦无法对此提供售后服务。

此產品為針對日本國內專用交流電壓100V所設計。由於各國所使用電壓或電源頻率不同，請勿於其他地區使用。另亦無法對此提供售後維修服務。

본 제품은 일본 국내 교류 100V 전용으로 설계되었기에 전압이나 전원 주파수가 상이한 외국에서는 사용할 수 없습니다. A/S 또한 불가능합니다.

# アフターサービス

## 1. 保証書の内容のご確認と保管のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

## 2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

ただし、内付の「フタ」は消耗品のため、保証期間内でも「有料」です。

## 3. 修理を依頼されるとき

### ＜保証期間中＞

製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店名にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。

### ＜保証期間を経過しているとき＞

修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

## 4. 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後5年間

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 5. 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。

「出張料」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■お客様ご自身の修理・分解や改造は絶対に行わないでください。

# お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答品などでご困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

## お客様ご相談センター



0570-011874

ナビダイヤル：市内通話料金でご利用いただけます

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

●携帯電話・PHS・IP電話など(ナビダイヤルが利用できない電話)

でのお問い合わせ……………Tel (06) 6356-2451

●ファクシミリでのお問い合わせ……………Fax (06) 6356-6143

製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために利用させていただきます場合がございますのでご了承ください。

## ホームページのご案内

部品・消耗品・別売品のご購入専用ページ <http://www.zojirushi-de-shopping.com/>